



平成26年 2月18日
国土交通省中部地方整備局
災害対策本部

豊根村の雪害に対する設楽ダム工事事務所の対応 ～老人福祉施設（豊根ケアセンター）で臨時電源復旧～

中部地方整備局設楽ダム工事事務所は、今回の奥三河地域の降雪による倒木、停電などの対応のため災害対策本部が設置されている北設楽郡豊根村にリエゾンを派遣し、災害対策情報の収集を行いました。

豊根村からは停電していた豊根村老人福祉施設（豊根ケアセンター）の電源確保について協力依頼があり、本復旧までの間、発電機を設置し臨時の電源を確保しました。

この電源により水道、ガスの使用が可能となりました。

※ リエゾンとは……L i a i s o n、「つなぐ」という意味のフランス語

災害対策情報の収集及び支援の調整を図るため、自治体に派遣される国土交通省の職員を指します。

1. リエゾン（現地情報連絡員）派遣

- 派遣先：豊根村役場
- 第1陣：人数：3名
派遣時刻：平成26年2月17日 13時20分から情報収集開始
- 第2陣：人数：2名
(第1陣と2月18日10時18分に交代)

2. 電源を供給した施設

- ① 老人保健施設（豊根ケアセンター）
○住所：豊根村上黒川字長野11-5

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ

【問い合わせ先】 国土交通省中部地方整備局 設楽ダム工事事務所
副所長 栗木 信之 副所長 大仲 章雅
TEL 0536-23-4331 FAX 0536-23-4401

老人福祉施設（豊根ケアセンター）で臨時電源復旧

- 豊根村長より、設楽ダム工事事務所長に、停電中の豊根ケアセンターへの電源確保について協力依頼があり、災害時の協力業者などに連絡し、発動発電機、電源ケーブルを準備した。
- 設楽ダム工事事務所のリエゾン(情報連絡員)が現地で、関係者と調整し、本格復旧が行われるまでの間、臨時電源の復旧を行った。



臨時電源復旧のため発動発電機を設置



豊根村長に臨時電源復旧について報告する設楽ダム工事事務所職員

※臨時電源が復旧し、2月18日午前0時50分から午前2時20分まで水道、ガスの使用が可能になった。